

[illegible][illegible]

Architectural floor plan of a 4-story building. The plan shows a grid of columns and beams. The total width is 42,000mm and the total depth is 28,000mm. The plan includes a staircase, a central core area, and several rooms. Rooms are labeled with 'C1' and 'B1' for columns and beams, and 'SL-200' for slabs. The plan also shows a central core area with a staircase and a central core area. The plan is divided into four main sections: a central core area, a staircase, a central core area, and a staircase. The plan is labeled with '4F' for the 4th floor. The plan is drawn in a standard architectural style with dimensions and labels.

断面図 縮尺1/200

名 称	記 号

符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)
C1	柱①	800×800			
G1	大梁①	450×800	G1	大梁	450×600
B1	小梁①	300×600	B2	小梁	250×500
S1	スラブ①	t=200	CS1	片持ちスラブ	t=200

建築物の床面積				合 計	
1 階		2 階			
(算定式) $42.0 \times 28.0 - (3.0 \times 10.5)$		(算定式) $42.0 \times 28.0 - (24.0 \times 7.0)$ $- (6.0 \times 7.0) - (6.0 \times 11)$			
小計	1,44.5 m	小計	900 m	2,044.5 m	

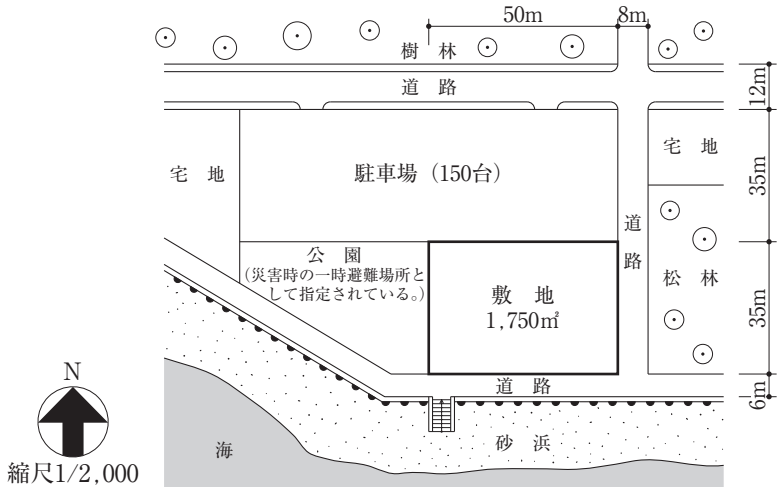
設 計 課 題 温浴施設のある「道の駅」

I. 設 計 条 件

この課題は、都市近郊の幹線道路沿いの美しい海岸線が広がる景勝地に道の駅を計画するものである。本施設は、道路利用者の休憩施設であるとともに、地域の観光情報の提供及び地場海産物の販売を行い、利用者及び地域住民の交流及び地域の活性化を図る温浴施設を持つ地域振興施設でもある。また、災害時における支援機能を有するものとする。

1. 敷 地 及 び 周 辺 条 件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。北側の隣地については図に示すような駐車場計画が策定されており、敷地の利用計画に当たっては、駐車場と一体的に利用するものとする。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - ① 主要な屋根は、勾配屋根とする。
 - ② 建築物の高さの最高限度を13mとする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 津波、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建 築 物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室 名	特 記 事 項	床面積
・ エントランスホール及び休憩部門は24時間利用できるものとし、売場は午前10時から午後7時まで、その他の施設は午前10時から午後9時まで利用できるものとする。			
・ エントランスを駐車場側に設け、南側道路からもアプローチできるものとする。			
休憩部門	共 用 便 所	・ 外部から直接アプローチするものとし、エントランスホールからも利用できるようにする。 ・ 男性用、女性用として、洗面所を含み、各1室設ける。 ・ 各便所に、多機能型便所及び便器20器以上を設ける。	適 宜
	休 憩 室	・ エントランスホールから利用するものとする。 ・ 海岸線の景観を楽しめるようにする。 ・ コインシャワー室を2室設ける。 ・ テーブル、いす等を設ける。	約60㎡
地域振興部門	売 場	・ 一部に海産物の鮮魚販売コーナーを設ける。 ・ 1 階 と 2 階 の空間の連続性を考慮した吹抜け(60㎡以上)を計画する。	約250㎡
	レ ス ト ラ ン	・ 60人程度が利用できるようにする。 ・ 厨房、食品庫、従業員用便所を設ける。 ・ テーブル、いす等を設ける。 ・ 明るく開放的な空間とし、カフェテラスと一体的に利用できるようにする。	適 宜
	交 流 ホ ー ル	・ 体験工房、セミナー、地域住民のレクリエーション等の交流の場として利用する。 ・ 2室に分割して、利用できるようにする。	約80㎡
	ラ ウ ン ジ	・ 利用者の休憩・談話等に利用する。 ・ 展望テラスに面して設ける。	適 宜
温浴部門	浴 室	・ 男性用、女性用として、それぞれ15人程度が入浴できるものとし、各浴室に脱衣室を設ける。 ・ 脱衣室には、ロッカー、洗面台を設ける。 ・ 眺望に配慮する。	適 宜
	和 室	・ 30畳程度とし、押入れを設ける。 ・ 眺望に配慮する。	
	受付・ロビー	・ 受付カウンター、下足入れ、便所(男女別)、自動販売機を設ける。	
共用・管理部門	エントランスホ ー ル	・ 吹抜けを計画する。 ・ 電話コーナー、情報コーナー、自動販売機コーナー、授乳室を設ける。 ・ 風除室を設ける。	適 宜
	管 理 事 務 室	・ 3 人 分 の事務スペース及び駅長室を設ける。 ・ 案内窓口を設ける。	
	特産品加工場	・ 鮮魚の調理・加工・包装を行うものとする。 ・ 売り場に面して設ける	約40㎡
	荷 解 き 室		適 宜
	商 品 倉 庫		約30㎡
	災害用備蓄倉庫	・ 外部から直接利用できるようにする。 ・ 食料、飲料水、生活必需品、医薬品を備蓄する。	約40㎡
	従業員更衣・休憩室	・ 男性用、女性用として各1室設ける。	適 宜
	設備スペース	・ 採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	
・ 便所及び倉庫については、適切に計画する。			
・ その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. そ の 他 の 施 設 等

- (1) 展望テラスを、次のとおり計画する。
 - ① 1階の屋上に設けるものとし、海岸線の望める位置とする。
 - ② まとまったスペースで150㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)以上を確保する。
 - ③ 一部にカフェテラスを設け、レストランと一体的に利用できるようにする。
 - ④ テーブル、椅子等を設ける。
- (2) 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、サービス用として1台分を設ける。なお、施設利用者用及び職員用の駐車場は、一般の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (3) 自転車置場20台分を、施設利用者用として設ける。
- (4) ごみ置場(約6㎡)を設ける。
- (5) (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - ② 施設利用者部門と管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - ③ 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
 - ④ 海岸線の良好な景観を積極的に取り入れた計画とする。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - ③ 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
 - ③ 地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。
 - ④ エレベーターを適切に設ける。

II. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要 求 図 面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図 面 及 び 縮 尺	特 記 事 項
(1) 1 階 平 面 図 兼 配 置 図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積(エントランスホールを除く) ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース ト. 断面図の切断位置 チ. 展望テラス(テーブル、椅子等を図示する。) リ. 要求室の特記事項に記載されている什器等
(2) 2 階 平 面 図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数を明示する。) ハ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断 面 図 1/200	① 切断位置は、吹抜け部分を含み、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

2. 面 積 表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 共用便所の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ② 建築物のアプローチの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ③ 海岸線の良好な景観の活用について、配慮したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② スラブ及び小梁の架け方について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 売場、浴室に採用した空調方式
 - ② 地震等の災害に対する設備計画について、「停電」及び「断水」時の対応策を記述すること(停電や断水は3日程度を想定する。)
 - ③ 設備スペース及び設備シャフトの配置計画について、工夫したこと